

札幌市白石区民センターへの意見書

2024年11月25日

北海道と入植植民地主義を考える「意見箱プロジェクト」

私たちは、北海道内外の大学教員やメディア関係者などから構成される、北海道と入植植民地主義を考える「意見箱プロジェクト」です。

11月15日に貴センターで開催された「アイヌの史実を学ぶ会」主催による講演会とパネル展「アイヌの史実を学ぼう～！パネル展」に関して、貴センターに意見と質問をお送りします。

11月15日の講演会の講師は『アイヌ副読本『アイヌ民族：歴史と現在』を斬る 北朝鮮チュチェ思想汚染から子供を守れ』（展転社、2020年）著者であり、同書において、アイヌ民族文化財団が刊行する副読本『アイヌ民族：歴史と現在 一未来を共に生きるために一』を「ウソ満載」「恐ろしい思想教育書」と主張しています。

こうした人物による講演や、「先住民族って？」と題し、アイヌが先住民族であることを疑う内容の解説に加え、和人社会への同化政策であり、「保護」の名のもとにアイヌ民族を侮蔑的・差別的に取り扱った旧土人保護法を「至れり尽くせりの旧土人保護法」と説明する「アイヌの史実を学ぼう～！パネル展」は、「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」第四条に抵触するとともに、アイヌ民族への人種差別を助長し、扇動していると我々は考えます。

札幌市の公共施設である貴センターにおいて、こうした講演や展示を許可することは、利用規約に記された「公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認める場合」に相当すると判断せざるを得ません。

こうしたことが繰り返されることのないよう、利用規約の内容と運用、双方の再検討と更新を求めます。「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」第四条に抵触する恐れがある企画が利用申請された場合、あるいは実施されてしまった場合、いかなる対応・対策を行うのか、具体的にご教示ください。

12月25日までに、以下のメールアドレスにご回答をお送りください。いただいた回答は、新聞・雑誌・オンラインメディアなどで紹介する可能性があります。

「意見箱プロジェクト」事務局担当
横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 専任講師／北海道教育大学 非常勤講師
小田原のどか



賛同者（50音順）：

浅原裕久

小田原のどか（彫刻家・評論家／横浜国立大学講師）

田村かのこ

廣瀬拓音

マユンキキ

縦山智子

山川冬樹（アーティスト／秋田公立美術大学准教授）

山田大揮

渡部宏樹